

第11回 保守管理検討会 議事録

1. 開催日時 : 平成19年 3月12日(月) 13:30~15:10

2. 開催場所 : (社)日本電気協会 4階 D会議室

3. 参加者 : (順不同, 敬称略)

- 出席者: 津田(日本原電), 小林(東京電力), 瀬越(関西電力), 吉井(北海道電力), 水嶋(東北電力), 西田(北陸電力), 三原(四国電力), 未園(東芝), 大野(日立製作所), 宮口(三菱重工業), 渡辺・松岡(原子力安全基盤機構), 田口(原子力安全・保安院), 堀水(原子力技術協会) (計14名)
- 代理出席者: 有瀧(中部電力・石川), 井上(九州電力・米丸), 小林(中国電力・岡崎) (計3名)
- 常時参加者: 伊藤(日本エヌ・ユー・エス), 小倉・中川・宮田(東京電力), 出野(関西電力), 藤村・内田(原子力安全基盤機構), 藤澤(原子力安全・保安院), 示野・岩田(電事連) (計10名)
- オブザーバ: 荒川(日本原子力技術協会), 宮岡・大畑(電事連), 滝沢(東京電力) (計4名)
- 事務局: 大東, 長谷川(日本電気協会) (計2名)

4. 配付資料

資料 11-1 保守管理検討会委員名簿

資料 11-2 第9回保守管理検討会 議事録(案)

資料 11-3 原子力発電所の保守管理規程改定案 JEAC4209-200X

資料 11-4 原子力発電所の保守管理指針制定案 JEAG4210-200X

資料 11-5 コメント回答集約表

資料 11-6 原子力規格委員会 運転・保守分科会 平成19年度活動計画(案)

参考資料1 原子力発電所の設備診断に関する技術指針案(回転機械振動診断)

参考資料2 コメント整理表

参考資料3 原子力発電所の設備診断に関する技術指針案 制定スケジュール

5. 議事

(1) 会議定足数の確認

本検討会委員総数17名に対して代理を含めた本日の委員出席者数は17名で, 規約上の決議の条件である『委員総数の3分の2以上の出席』を満たしていることが確認された。

事務局より, 石川主査欠席のため, 分科会規約第13条第2項に基づき, 津田副主査が本日の議事進行役を務めることが紹介され, 了承された。

(2) 代理参加者及びオブザーバ参加者の承認

事務局より, 上記代理参加者及びオブザーバ参加者が紹介され, 津田主査代行より, 代理

出席者及びオブザーバ参加者の会議参加が承認された。なお、資料 11-1に基づき、中国電力の岡崎委員が退任になり、本日代理出席いただいた小林様が、新委員候補として次回運転・保守分科会で承認を得ることの紹介があった。

(3) 前回議事録(案)の承認

事務局より、資料 11-2に基づき、前回の検討会議事録(案)が紹介され、本内容について承認された。

(4) 設備診断に関する技術指針制定案 検討状況の紹介

オブザーバで構造分科会設備診断検討会委員の滝沢様より、参考資料 1~3に基づき、設備診断に関する技術指針案の検討状況について説明があった。

特に意見・コメントはなかった。

(5) JEAG4210 保守管理指針制定案および JEAC4209-2003 改定案の審議

1) コメント回答集約表について

小林副主査より、資料 11-5に基づき、コメント回答集約表の説明があった。

議論の結果、本日の意見・コメントを反映したコメント回答集約表を3月16日の運転・保守分科会、4月17日の原子力規格委員会に報告することが了承された。

本件に関する意見・コメントは以下のとおり。

a. 運転・保守分科会、構造分科会、原子力規格委員会の各委員からのコメントに対して回答いただいているが、再コメントはあったのか。

一部の委員に個別で回答しており、資料 11-5の解答欄に見え消し線がある後段の部分が再コメントの反映部分であり、意見者に対しては了解を得ている。各委員に対して誠意を持って対応している。

b. 資料 11-5の解答欄に見え消し線はどうするのか。

見え消し線の部分はご了解いただいている部分なので削除した形で運転・保守分科会、原子力規格委員会の資料とする。

c. 前回の検討会時のコメントに対する回答はどうするのか。

議事録にもあることから、この分は運転・保守分科会、原子力規格委員会の資料から除く。

d. これまで検討会の場では色々なコメントを受け、ある程度制改定案に反映してきており、回答に対してご理解いただいたと判断して、これでコメント受けは終了することとしたい。

2) JEAG4210 保守管理指針制定案および JEAC4209-2003 改定案について

瀬越委員より、資料 11-3,4に基づき、2月28日に各委員に送付した JEAG4210 保守管理指針制定案および JEAC4209-2003 改定案から変更になった部分について説明があった。

議論の結果、本日の意見・コメントを反映した制改定案を次回の運転・保守分科会、原子力規格委員会に報告することが了承された。

本件に関する意見・コメントは以下のとおり。

- a. 「点検」は「検査・試験」を包絡したイメージで理解できるが、「点検計画」「補修・取替え・改造計画」「特別な保全計画」の場合には、いずれも「検査・試験」が入っており、どんなイメージになるのかを確認したい。

「点検」と一言と言っても、「点検」の中には確認評価の行為があり、そのうち法令や事業者が定めたものを「検査・試験」としている。「補修・取替え・改造計画」は工事計画を出すようなものに整理され、消耗品の交換は点検の中に含まれる。「特別な保全計画」は地震などにより長期停止となった際の点検計画のようなものに整理される。

- b. 「点検」「補修・取替え・改造」で分けた場合、「検査・試験」はどちらにもあり、グレーな部分である。この JEAC を使っていくのに全体像が関係者に理解されるためにもこれらの理由、注釈を付けなくてよいか。

MG-11「保全計画の策定」の中で、MG-11-1「点検計画の策定」では保全方式を選定し、保全方式ごとの点検計画を定めている。MG-11-2「補修、取替え及び改造計画の策定」は補修、取替え等の確認評価として検査・試験を定めている。こうした構成上の中で整理できるので、理由、注釈は不要と考える。

点検対象設備・機器の確認状態を見て「点検」にするのか、「補修・取替え・改造」にするのか、さらにその確認評価として「検査・試験」を実施することにあまり問題が生じることはないと思う。問題が起こらないように十分な説明をしていく必要はある。

- c. 指針の第 1 章序論で、「基本的要件」となっているが、コメント回答集約表では「基本要件」に訂正するとあるので訂正すべき。この他にも同様な抜け、未修正などあるかもしれないので、全体を通して確認が必要である。

拝承。第 3 者的立場の方に見ていただくようお願いしたい。

- d. MG-15「保全の有効性評価」の解説 49 で、表題の「点検間隔又は頻度の変更」とその評価方法の項目(5)「運転中機器の状態監視による評価」は、どう結びつくのか。

添付 8 の「保全の有効性評価の内容とその実施時期(例)」に、b-2「設備診断技術を用いた状態監視データ」で、“一定期間基準値を満足していた場合は、分解点検の周期の延長を検討する”とあるように、CBM を実施している機器で点検期間を延長できそうな一般的な機器については適用できるということで記載している。そのためには当然 b-3 にあるような技術評価は行わなければならない。

- e. そうであれば、(5)運転中機器の状態監視による評価の「構造又は機能の健全性を確認できることを評価する」とあるが、表現が違ってくるのではないか。

記載ぶりは検討する。

3) 今後のスケジュールについて

田口委員より、以下の理由で JEAC4209, JEAG4210 制改定スケジュールを 2 ヶ月程先送りしていただきたいという提案があった。

国のガイドラインの策定は、本検討会における JEAC4209 改定案の検討と合わせて進めてきたが、当初計画より遅れが生じ、さらには今回のデータ改ざんを踏まえてガイドラインへの反映要否を検討しているところであり、反映があれば JEAC4209 改定案にも反映しなくてはならなくなることから、国の検討状況を踏まえてスケジュールに変更していただきたい。

議論の結果、国のガイドラインとの整合を取りつつ制改定案に反映することとして、制改定スケジュールを2ヶ月程先送りすることとが了承された。

この結果、3月16日の運転・保守分科会および4月17日の原子力規格委員会は最終審議とはせず、コメント対応状況、制改定案、スケジュールの変更について説明することとした。さらに事務局より、既に決定している6月12日の原子力規格委員会を最終審議とするべく、5月中旬に運転・保守分科会、4月下旬あるいは5月上旬（連休明け）に検討会の開催日を設定していくというスケジュール案が提示され、運転・保守分科会の日程も含めて、事務局で別途調整することとした。

(5) 平成19年度活動計画案の審議

津田主査代行より、資料11-6に基づき、本検討会の平成18年度活動実績および平成19年度活動計画案について説明があった。

審議の結果、今回の制改定案改定スケジュールの変更に伴い、活動計画案を一部修正した上で次回運転・保守分科会の審議を経て、原子力規格委員会に諮ることについて、挙手による採決を行ない、出席委員全員の賛成で可決された。

(6) その他

次回検討会開催日は別途調整する。

以上